

C-9 気候変動で発生する自然災害と対策

～災害大国日本の JICA から派遣された国で取り組んだ災害対策～

講義担当:前川貴夫(NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会)

講座対象者	<input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校中学年 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校高学年 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後施設利用児童 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> 地域一般		
授業活用例	小学 5・6 年「社会科」、中学1～3年「SDGs」、高校1～3年生「SDGs と国際理解」		
関連のある SDGs のゴール	11, 13, 15, 17	オンライン授業	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
対応可能曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> その他(曜日)		
対応時間	10 時～17 時		
年間実施上限数	日程があれば上限はありません		
講座実施方法 ※()は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義(教室、会議室等) <input type="checkbox"/> ワークショップ() <input type="checkbox"/> 自然体験()		
講座所要時間	45～100 分(最長 100 分には質疑時間を含む)		
実施条件、必要な準備等	プロジェクターとスクリーンまたは大型モニター、体育館で実施の場合はマイクとスピーカーの準備をお願いします		

講座内容

1. 講座の目的・ねらい

JICA から派遣されたモロッコは砂漠が多く基本的に乾燥しているが、年に数回の洪水を伴う豪雨により人的被害が発生していた。同じくマレーシアは熱帯性の気候により洪水を伴う人的被害が多発していた。災害大国の日本からネットワーク通信技術を紹介する立場で両国へ派遣され、各種センサーにより収集した情報から避難警報を伝達するネットワーク構成まで、システムを試作して地元自治体にも防災体制の向上を働きかけてきた経過を SDGs 目標 13:「気候変動に具体的な対策を」との関係を中心に紹介する。

2. 内容

- (1) 自己紹介と日本国内での自然災害の被災経験について(10分)
- (2) モロッコの暮らしと文化について(10分)
- (3) モロッコの自然災害への対策および日本からの支援について(20分)
- (4) マレーシアの暮らしと文化について(10分)
- (5) マレーシアの自然災害への対策および試作した洪水予知警報システムについて(20分)
- (6) 日本で皆さんに求められる自然災害への対策について(20分)



最後の項目の時間については参加者、学生、生徒の皆さんの意見も踏まえて、柔軟に対応できると考えている。

<モロッコの洪水警報システム>

問合せ先:NPO 法人シニアボランティア経験を活かす会

メールアドレス:jicasvobedu@gmail.com